

【別紙様式】

平成28年度 津山市立（ 東 ） ④・中学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

| | | | |
|-------------|--|---|--|
| 津山市 達成目標 | これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み | 算数・数学AB・・・算数Aでは「比」「割合」の問題、算数Bでは「図形」の問題に課題がある。 数学Bでは「考え方」「思考・表現」の部分に課題がある。 国語AB・・・国語Aでは、ローマ字「hyaku」などを読む部分に課題がある。 国語Bでは、「書く」問題に課題がある。 | |
| | 学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法） | 進捗状況 | 3学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標） |
| 市全体の取組 | 「問題データベース」等の復習プリントを朝学習や宿題、授業中等で活用する際、時間を区切って取り組み、早く正確に解く練習をくり返し行う。 | B | 問題データベースについて、年度初めに職員全体で共通認識する時間を設定し、朝学習や、宿題、授業中等で、課題のあった問題の類似問題を中心に、全員が解き、特に活用問題については、解説も詳しく行い、苦手意識を軽減させていきたい。 |
| ① | 4教科の学習到達度確認テストを計画的に活用し、特に活用問題は重点的に扱う。 | A | 学習到達度確認テストの実施日を朝学習に位置づけ、確実に実施し、学期ごとに実施状況を調査し、学年末に実施率を100%にする。特に活用問題については、解説も詳しく行う。 |
| ② | 学期ごとの漢字力テスト・計算力テストや朝学習・家庭学習などを活用し、漢字・計算等の基礎学力のさらなる定着を図る。 | B | 漢字と計算の定着を確認するテスト（漢字オリンピック、計算力テスト）を作成し学期に1回実施する。 漢字の書き取り定着率を80%、計算定着率90%を目指す。 |
| ③ | 自主学習ノートの取組を充実させ、自分で計画して復習や予習に取り組む習慣を作る。 | S | 自主学習ノートの提出率80%以上を目指すとともに、参考になる内容の自主学習を玄関のボードに掲示したり、どのようなところが良かったのかコメントしたりして、内容面でも深まるようにする。 |

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」